大野小学校

跡地利活用検討委員会便り

2013年12月

第一回大野小学校施設等の跡地利活用検討委員会の様子です。

南丹市立小学校再編
学校施設等利活用事業の取組み

平成25年6月28日、南丹市議会6月議会において「南丹市立小学校及び中学校設置条例等の一部を改正する条例（議案第39号）」、「議案第39号に対する付帯決議」が可決され、7月3日には教育委員会議において「南丹市立小学校再編整備計画」が策定され、通学区域・拠点校舎等が決定されました。当地域の大野小学校は来る平成27年度までとなり、平成28年4月1日からは美山町内の5つの小学校がひとつになり、美山小学校へと生まれ変わります。

8月6日には市長を本部長とする「南丹市小学校再編実施本部」が設置され、後に「南丹市協働担当職員」として各小学校区に3名ずつ（11チーム・33名）の市職員が配置されました。当区の担当職員は[redacted]です。また8月27日の9月議会において「小学校再編特別委員会」の設置が可決されました。

大野振興会の企画委員会において地域の重要な課題として協議検討した結果、振興会役員（顧問、会長、副会長、部長、副部長）を委員とする「大野小学校施設等の跡地利活用検討委員会（以下検討委員会）を立ち上げ、「南丹市協働担当職員」の3名の方と共に「地元の要望を要望書にまとめ南丹市に提出」することを決定しました。

跡地利活用検討委員会
大野地域の現状と未来への展望

第一回目の検討委員会を11月28日に大野ふれあい館研修室にて開催しました。検討委員会の体制を決定し、これからの検討に関する情報の収集発信や条件の整理確認、今後のスケジュール等協議しました。

検討委員会の体制は、委員長に[redacted]（大野振興会長）、[redacted]委員長以下計12名となります。

大野小学校は都市計画区域外にあり、土地面積は約1万㎡あります。現在は大野地区の収容避難所に指定されています。校舎は鉄筋コンクリート造（三階建て）で床面積は約1,800㎡になっています。平成18年に行われた耐震診断によるIs値は0.6です（学校施設としての必要数値は0.7以上、一般施設は0.6以上）。必要最低限の数値の診断結果となっています。（※Is値は耐震改修促進法で定められた構造耐震指標であり、地震に対する安全性を数値化したものです。経年経過も考慮項目のひとつです）

毎月、検討委員会を開催し、たたき台となる要望原案がまとまり次第、地域説明会を実施し、そこでの意見等と調整して、最終的に大野地域の要望書を作成していきます。また、この検討委員会便りを毎月発行して進捗状況の報告等をする予定です。

平成28年4月から始まる美山小学校。5つの小学校がひとつにまとまって万全のスタートが切れるよう各関係機関において協議されています。それにともなう大野小学校跡地の利活用も、今後の美山町、大野地域を見据えて検討協議し、早期の要望提出を目指してまいります。

■11/30　大野小学校視察

現状を把握するため、検討委員会メンバーで大野小学校の視察を行いました。